

第195号

令和3年7月25日発行

発行所
一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人 岡村一巳
編集人 広報委員会
(委員長 矢嶋博和)

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385 編集 日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

さいのかがやき

彩の耀

一般社団法人 埼玉県電業協会

耀け埼玉電協!

～2030年に向けて持続可能な開発目標～



「事業活動で成果得る」

令和3年度定時総会



岡村会長

問題に対処すべく、本年度も創意工夫を凝らして事業活動にまい進します。

冒頭のあいさつで、岡村会長はコロナ禍にあってもデジタルツールなどを活用した各種の取り組みに自信をのぞかせ「5Gをはじめとする技術革新を見据えたSDGs(持続可能な社会を実現するための目標)に向け、その成果が得られるよう引き続きご協力をお願いします」と思いを伝えました。

来賓祝辞では、埼玉県県土整備部の金子勉副部長が「電気設備は生活や地域経済を支える重要な基盤。皆さま方は、安心安全の確保や質の高い県民生活の実現に向けた心強い県のパートナーです」と述べ、われわれの存在をたたえました。

その後、共同購買事業で実績を上げた上位3支部の発表に移り、1位の西部支部、2位のさいたま支部、3位の北部支部へそれぞれ岡村会長から報奨金が贈られました。

議事ではまず、山口裕副会長を議長に選出。20年度会務報告や同収入・支出決算、役員辞任に伴う補充選任などが上程され、いずれも多くの拍手をもって承認されました。21年度事業計画には就労支援の情報発信や工業高等学校電気科授業での業界説明、各種講習会、ボランティア活動、分離発注方式に関する調査・研究、公共工事発注機関との意見交換など、会員が抱える課題へ即応した取り組みを積極的に進めてまいります。



慎重審議の末、全議案が承認されました

ゼロ災へ意識向上

令和3年度安全大会



7月6日、埼玉建産連研修センターで令和3年度安全大会を挙行了しました。東日本建設業保証埼玉支店が共催し、64人が労働災害の撲滅を誓いました。

安全衛生に関する訓示には厚生労働省埼玉労働局から労働基準部健康安全課長の阿部恭之氏を招聘。安全講話については全国建設研修センター施工法令専門委員であり、建設経営サービス提携講師の相蘇淳一氏が「企業全体および個別現場の災害減少を図るためには!～効果的な取り組み事例から学ぶ～」をテーマに講義を行いました。

岡村会長は労働災害の発生要因が従前から変わりつつあるとし、就業構造の変化や新型コロナウイルス感染症拡大など社会情勢を踏まえた迅速な対応が必要と述べました。

訓示へと移り、阿部氏が県内事業場の労働災害発生状況を説明。昨年の死傷者数6769人のうち618人が建設業だったことを示し、引き続き墜落・転落災害対策やフルハーネス型墜落防止用保護具の使用推進などを要請しました。

続く安全講話では、相蘇氏が労働災害防止に向けた企業単位での取り組み事例として、新規入場者への7日間声かけ運動やヒヤリ・ハット記録帳の活用、作業時間帯別KY活動などを紹介しました。

その後、山本和利事故防止対策委員長が令和3年度全国安全週間のスローガン「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」を読み上げました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者は山本委員長に続いて心の中でスローガンを黙唱して安全への意識を高めました。



労働災害の撲滅を誓いました



「彩の耀」に寄せて



秩父市長
北堀 篤

「彩の耀」第195号のご発行を心よりお喜び申し上げます。

日頃より、一般社団法人埼玉県電業協会の皆様には、電気設備産業の発展にご尽力いただくとともに、地域生活の安全と安心、社会福祉の向上にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

このたび多くの市民の皆様からのご支援・ご支持を賜り、5月1日より第3代秩父市長として秩父市政のかじ取り役を務めさせていただくことになりました。地元秩父市の発展のため、秩父市議会議員・埼玉県議会議員を通じた20年以上の政治経験と、これまで培った人とのつながりを最大限に活かし、山積する諸課題を迅速かつ的確に解決すべく努力してまいります。

さて、埼玉県の西部に位置する秩父市は、東京から電車で78分程の距離にあり、都会から気軽に訪れることができる、周囲を山々に囲まれた自然豊かな地域です。また、歴史と文化に彩られた街でもあり、秩父札所巡礼や、日本三大曳山祭の一つに数えられ、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている秩父夜祭など、年間を通じて多くの観光客が訪れています。街なかには、かつて織物産業が盛んであった頃の古民家や問屋など趣のある建物残り、国の登録有形文化財にも指定されています。

昨年より新型コロナウイルス感染症が大流行し、これまでに経験したことのない事態に戸惑われている方も多いかと思います。ワクチン接種は開始しておりますが、今日においても収束のめどが立たず、経済に大きな影響を与え、日

本中に閉塞感が漂っております。秩父地域も例外ではなく、行動の制限が長引くことで困難な状況にある企業が多くあります。そんな状況下ではありますが、秩父市において、安全で安心して暮らせる社会の実現のため、経済の活性化・雇用の創出、道路等のインフラの整備、財政の健全化など幅広い視点で施策を進めてまいります。

まず、高齢者が健康で生き生きと暮らせる環境の支援や、次世代を担う子どもを産み育てやすい社会を構築するため、経済的負担の軽減を図ります。また、時代に即した新たな風にも柔軟に対応し、世界で活躍できる「ちちぶっこ」を育てるなど、誰もが夢や希望を感じることでできる取り組みを進めます。

さらに、地域の歴史や文化を活用した観光振興を進め、中心市街地の活性化や秩父夜祭を核とした観光開発など、地域の強みを掘り起こし、その地域の良さを社会全体の活性化につなげます。秩父市にゆかりのある美術家や芸術家などを世界に向けて発信するための施設やスポーツ施設の充実も展開していきたいと思います。

今後も、身近で開かれた市政を展開し、「秩父に活力を！」与える市政運営に徹してまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましてご挨拶いたします。

企業対策
セミナー

CCUSとCPDがテーマ

主 要
事 業17 パートナシップで
目標を達成しよう

岡村会長

6月18日、埼玉建産連研修センターで令和3年度の第1回企業対策セミナーを開催しました。対面型とオンラインによるハイブリッド形式で行い、約40人が建設キャリアアップシステム（CCUS）とCPD制度について理解を深めました。

岡村会長はセミナーを契機に、CCUSへの理解に拍車がかかることを期待しました。

講演へと移り、第1部では（一財）建設業振興基金建設キャリアアップシステム事業本部の上浪鉄郎審議役がCCUSの概要や申請・登録方法、現場での運用ポイントなどを説明しました。CCUSについて、上浪氏は「技能者のキャリアパスを明確にして若い世代の入職者増を図ること、施工能力を見える化して競争力を高め、業界の健全化を図ることの2点が大きな目的です」と述べ、技能者の高齢化と若年入職者の確保・育成を喫緊の課題と捉える建設業界にとって、CCUS導入が解決の糸口となるこ

とを強調しました。

第2部は同基金試験管理・講習部の高橋光明研究次長が「建築・設備施工管理CPD制度について」を演題に講義を行いました。高橋氏は同基金が認定するCPD制度を紹介。「制度を社員教育や人材育成の枠組みとして活用することで、企業の技術力向上につながります」と訴え、受講実績が技術の習得と評価へと導くCPD制度の優位性を伝えました。



ハイブリッド形式で開催しました

技術
講習会

現場管理のノウハウ学ぶ

主 要
事 業9 設備と技術革新の
本質をつかろう

5月19日、埼玉建産連研修センターで令和3年度の第1回技術講習会を開催しました。当日は62人が出席し、現場管理技術のほか、電気設備工事におけるクラウドサービスの利活用事例を学びました。

冒頭のあいさつで、岡村会長は建設業界における生産性向上の必要性を訴え、今回の講義内容がその一助となるよう期待しました。

講習会では、まず㈱関電工北関東・北信越営業本部の品質工事管理部で、品質工事管理チームリーダーを務める小川明宏氏が「現場管理業務のポイント」を演題に自身の経験を交えつつ、効率的な管理手法を伝授しました。一品受注生産である建設業は施工を含め、多種多様な工程を総合的にマネジメントしなければならない特性があることを踏まえ「工程管理が品質管理、安全管理、原価管理に大きな影響を与えます。工程に無理が生じれば当然、品質面、安全面、コスト面にマイナス要素が生まれてしまいます」と説明し、可能な限り前倒しの工程を組

むよう求めました。

その後は、施工管理・業務管理システムの販売などを手掛ける㈱アンドパッド第三業務部の富永尚矢氏が自社のクラウドサービス「ANDPAD」の機能や特長を説明したほか、電気設備工事における利活用事例も紹介しました。



効率的な現場管理の手法を学びました

受験準備講習会

9 建築と設備実務の基礎をつくらう



1級電気工事施工管理技術検定受験準備講座に20名出席

5月6日、1級電気工事施工管理技術検定の受験準備講座を埼玉建産連研修センターで開講しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏が務め、20人全員が第一次検定の合格に向け、熱心に聴講しました。

講座は5日間行われ、今年度より新制度となった試

験の概要や効果的な学習方法について学び、その後も施工管理法の講義、模擬試験（過去問題）などを受けました。



第二種電気工事士目指せ 筆記合格に向けて準備講習

第二種電気工事士の筆記試験合格を目指すべく、5月10日に埼玉建産連研修センターで受験準備講習会を開講しました。講義は3日間行われ、28人が参加しました。

5月10日と17日がSEEDO代表の関根康明氏、最終日の24日は前田義文氏をそれぞれ講師に迎えました。初日は試験概要のほか、配線図を中心に講義が行

われ、照明器具やコンセント、電線管の図記号や写真を示しながら配線図の見方などの説明を受けました。

2日目は機器や鑑別、施工方法、一般用電気工作物の検査、電気事業法などの各種法令を学び、3日目は電気に関する基礎理論、総まとめとして模擬試験問題にチャレンジしました。

第二種電気工事士目指せ 23名が技能試験突破へ全力

第二種電気工事士技能試験の合格を目指し、6月22日と23日の2日間、埼玉建産連研修センターで受験準備講習会を開きました。

講師はRIC代表取締役社長の渡邊一雄氏が務め、23人が作業用工具を使用し、出題される候補問題の配線作業を学びました。

渡邊氏は40分間ある試験時間のうち、30分で作品を

完成させるポイントを伝授。複線図を描かず、単線図のみで完成させることがそれを可能にするとし、残る10分を仕上げた作品の確認に充てることが合格への近道と説きました。また、13の候補問題のうち類似している回路を7つのグループに分け、その基本工程を教えることで、全13の候補問題すべてに対応できるようにしました。

消防設備士甲種4類 15名全員が資格取得へ

6月7日、21日、28日の3日間、埼玉建産連研修センターで消防設備士甲種4類試験の受験準備講習会を開催しました。講師は3日間とも、SEEDO代表の関根康明氏が務め、資格取得に向けて15名が熱心に受講しました。

初日は試験概要や電気に関する基礎的知識、消防関係法令を学びました。2日目以降は筆記対策に加え、

写真やイラスト等を見て解答する鑑別、感知器や配線などを記入して設計図を完成させる製図のポイントを学び、その理解度を深めるため、問題演習も行いました。



講師の関根氏

安全衛生教育

4 夏の高熱対策をみんなに



50人が理解深める フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

5月21日に埼玉建産連研修センターでフルハーネス型安全帯使用作業にかかる特別教育を実施しました。50人が高所作業に欠かせない墜落制止用器具の知識や使用方法などを学びました。ケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏が講師を務め、午前中は作業に用いる設備の種類、点検と整備方法に関する説明のほか、フルハーネス型およびランヤードの種類や構造、安全帯の保守・保管のポイント、関連器具の使用法などを解説しました。

午後の実技教育では1班10人ずつに分かれ、フルハーネスの装着や具体的な点検方法を確認し、続けて労働災害防止に関する知識と関係法令も学びました。



交代で装着を体験

役割と職務の重要性を再認識 職長・安全衛生責任者教育

6月16日と17日の2日間にわたり、埼玉建産連研修センターで職長・安全衛生責任者教育を開きました。講師は初日が社会保険労務士の浜浩子氏、2日目はケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏がそれぞれ務め、21人が職長と安全衛生責任者の役割や職務内容について理解を深めました。

浜氏は建設業における労働災害の発生状況を紹介し、労働災害の仕組みや発生時の対応について説明。「安全な環境、安全な作業手順というのが何より大事。責任者とし

てそれを肝に銘じてほしい」と呼び掛けました。

その後は建設業労働災害防止協会発行の職長・安全衛生責任者教育テキストに沿って、職長と安全衛生責任者の役割と職務をはじめ、作業員に対する指導・教育方法、リスクアセスメントの具体的な進め方などが説明されました。



講師の浜氏

コロナが変えた日常

Voice

富士電気工業株式会社 代表取締役 小川 佳輝

この度、「彩の耀」会員コーナー「Voice」に寄稿を依頼され題材について何を書こうか考えるなか趣味の話でも書こうと思い筆をとると、思い浮かんでくることはコロナでの影響の話になってしまいます。なので今回の題材は「コロナが変えた日常」について寄稿します。

振り返ってみると2020年1月、2月は感染が話題になり始めたものの、まだ差し迫った危機感はなく、日常生活に大きな影響はありませんでした。しかし、3月に入ると、急速にコロナの影響が日常生活や仕事へさまざまな形で現れました。当社は再来年50周年を迎える為会社の建て替えを、オリンピック終了年から予定をしていたが延期。また深刻な問題である建設業界の人手不足解消の一手とし、「直接工事現場で働く電工」・「電工をマネジメントする技術者」を現地ベトナム（ダナン）にて1年間日本語・電気工事士・CADの人材育成を行ってきました。いざ日本へと期待していたが入国できず

これには本当に残念でなりません。今直ぐ仕事が終わる状態ではないものの、設備投資の抑制、購買意欲減少により今後建設業に大きな影響を及ぼし、間違いなく令和3年度は厳しい状況になるだろうと危惧します。新型コロナウイルスの影響で感じたことは、「私たち電気設備工事会社は何のために存在するか」という存在価値であり、自社の事業が無くなってもお客様にそれほど影響がないのであれば、残念ながら当社の存在価値はないのでしょうか。今後選ばれる会社とし私自身の向上と社員育成を目指し、社業の発展に努めていきたいと思ひます。



日常を取り戻す日は近づいている

あと施工アンカー講習会 技術の習得図る



7月2日、あと施工アンカー講習会を埼玉建産連研修センターで開き、12人が受講しました。講習内容は、あと施工アンカーの▽使用例▽地震による被害▽分類、施工上の要点▽性能▽施工品質確認——などで、講師のサンコーテクノ(株)（千葉県流山市）が座学、実技の施工デモンストレーションの順に講習を実施しました。

座学ではアンカーの分類を詳細に説明したほか、品番の見方や施工方法などについて解説。その後の実技では、コンクリートブロックへの各種アンカーの取り付け作業などを学びました。



施工方法を再確認しました

優秀安全管理者表彰 本年度は5名受賞



7月6日に開かれた令和3年度安全大会で、優秀安全管理者表彰も行われ、本年度は5名が受賞しました。今後も引き続き、安全管理のリーダー役としてご指導をお願い申し上げます。



受賞者の面々

(敬称略)

支部名	会社名	受賞者氏名
さいたま	栄電業(株)	大木 規誉
東部	(株)大広電気	小川 賢礼
西部	(株)北産電設	金子 令
南部	(株)佐久間電設	原口 学
北部	松山電設(株)	岡部 健

今年度は50名が出席しました